

平成29年度 一般研修募集案内

募集人数	4月期 10月期 各20名
募集期間	4月期：平成29年1月5日(木)～31日(火) 10月期：平成29年7月予定
応募要件	陶磁器業界への就業を希望する人
面接	4月期：平成29年2月11日(土) 10月期：平成29年8月予定 ※ 詳しくは募集要項をご覧ください。
受講料(月額)	ろくろコース ※3,300 円 絵付コース ※3,000 円 製造技術コース ※9,000 円
	※H28 年度実績 H29 年度受講料は平成29年3月に決定します

「一般研修」の他に、佐賀県窯業技術センターでは、窯元・商社の在職者を対象にした「短期研修」や陶磁器に関するセミナーを実施しています。募集は随時行いますので、佐賀県窯業技術センターのホームページをご確認下さい。

Q & A

Q. 土もののろくろを学んだことがありますが、「ろくろ応用」から受講することはできますか？

A. 有田では、磁土で「のべべら」を使ってろくろ成形をします。
技法が違うので、経験がある方も基礎からの受講になる場合があります。



Q. 修了後は、どのような進路が考えられますか？

A. 窯元や商社といった陶磁器関連企業が主な就職先と考えられます。

Q. 未経験ですが、私にもできるのでしょうか？

A. 心配ありません。少人数制で技術修得を目指し、きめ細やかに指導いたします。



- JR 佐世保線 有田駅下車 徒歩 15 分
- 波佐見有田インターチェンジから 車で3分
- 武雄北方インターチェンジから 車で約30分

お問い合わせ/資料請求は・・・

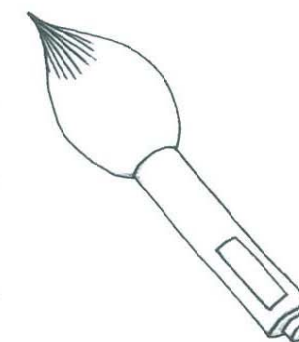
佐賀県窯業技術センター
窯業人材課(有田窯業大学校内)

〒844-0013
佐賀県西松浦郡有田町大野乙 2441-1
Tel 0955-42-3144 fax 0955-42-6552
email yougyougijutsusenta@pref.saga.lg.jp
http://www.scri.gr.jp/index.php



佐賀県窯業技術センター 研修生募集

伝統の地
「有田」
技術と
スピリッツを
身につける
で



一般研修

高校・大学卒や社会人などを対象に陶磁器製造技術研修を実施します。
修了後は、就職や家業の後継者を目指すことができます。

研修期間：6ヶ月（1～2年の継続受講可） 月々金曜日

江戸時代初期、有田で磁器原料となる泉山陶石が日本で初めて発見され、伊万里・有田焼の生産が始まりました。

以来、400年にわたって日本の陶磁器産業を牽引してきた有田に、陶磁器産業の次世代を担う新しい人材を育成する研修がスタートしました。陶磁器業界に従事しようとする方を対象に、ろくろ、絵付、型製作、成形等の技術研修の場を提供し、伝統の継承と産業へ貢献できる人材の育成をめざします。



ろくろコース（基礎／応用1・2・3 各研修期間 6 か月）

研修の概要（研修により習得できる技術）

伝統工芸士の指導により、ろくろ成形を主とした技術の修得を目指します
基礎コースでは、土こねから道具作りといった基本的技術を学びます
応用コースでは皿、立ち物から大物へと段階に応じた課題に取り組みます

研修の目標

- 基礎コース ろくろ成形に必要な工具・道具の取り扱いや成形・焼成に関する基本となる製造技術を習得する
- 応用コース ろくろ成形の基礎をベースに幅、高さ、容量などを考慮に入れ、器づくりの応用技術習得に努める



ハマづくり



修了制作 蓋付飯碗



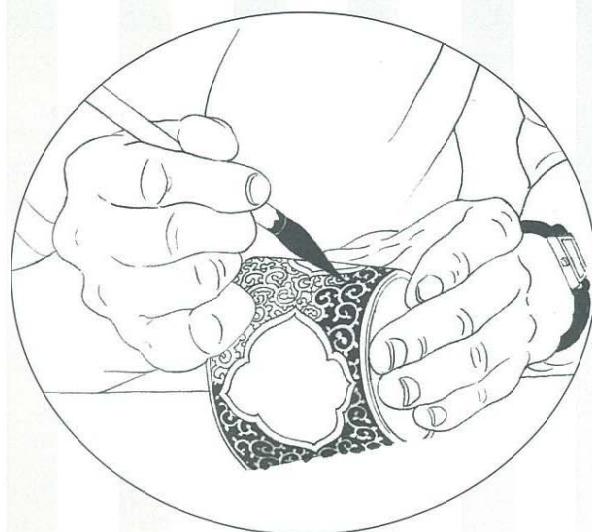
のべべら



修了制作 鶴首



修了制作
4寸小鉢 5寸/7寸皿



絵付コース（基礎／応用1・2・3 各研修期間 6 か月）

研修の概要（研修により習得できる技術）

伝統工芸士の指導により、伝統絵付を主とした装飾技法を学びます
基礎コースでは、下絵付の基本的技術を学びます 応用コースでは技術に応じて上絵付・染錦の技術習得をめざします

研修の目標

- 基礎コース 伝統的な磁器の下絵付に用いる絵の具の溶き方、筋車を用いての中心取りから線引き、線描き（骨描き）による基礎技術を習得する
- 応用コース 伝統的な磁器の下絵付・上絵付に用いる絵の具の溶き方、線描き（骨描き）、濃みによる基礎技術を習得する



基礎 修了制作



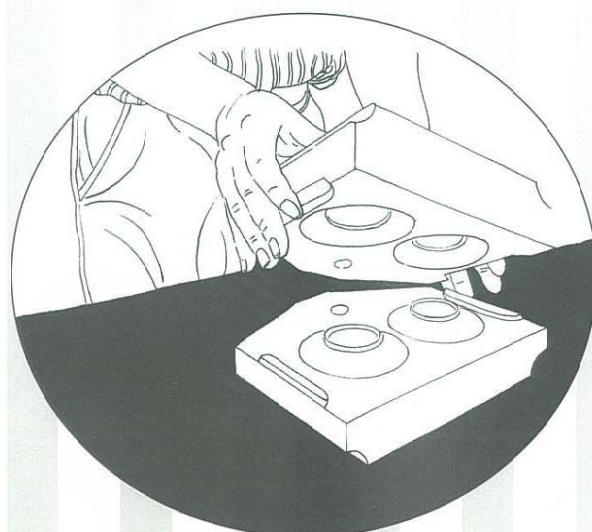
応用3 修了制作



応用 課題



応用2 修了制作



製造技術コース（基礎／応用 各研修期間 6 か月）

研修の概要（研修により習得できる技術）

基礎コースでは、陶磁器製造のために必要な型の製作や鋳込み成形、下絵付、釉薬、製図の基本的な技術を学びます
応用コースでは、量産するために必要な型、印刷、3DCAD等高度な製造技術の習得をめざします

研修の目標

- 基礎コース
 - 石膏型製作・成形など陶磁器技術の基礎を学ぶ
 - 石膏ろくろ・機械ろくろ・圧力鋳込み装置等の機械操作ができる
- 応用コース
 - 3Dプリンターやモデリングマシン等の操作に必要な3DCADの技術を習得する
 - 陶磁器デザインに必要な製品の設計ができる



石膏ろくろによる型製作



転写技法



機械ろくろ成形



3Dプリンタによる原形製作



1～2年かけて 必要な技術を習得できます

同じコースの基礎～応用を通して技術向上できます。
複数のコースを1～2年かけて受講すると陶磁器製造技術全般を学ぶことが可能です。

